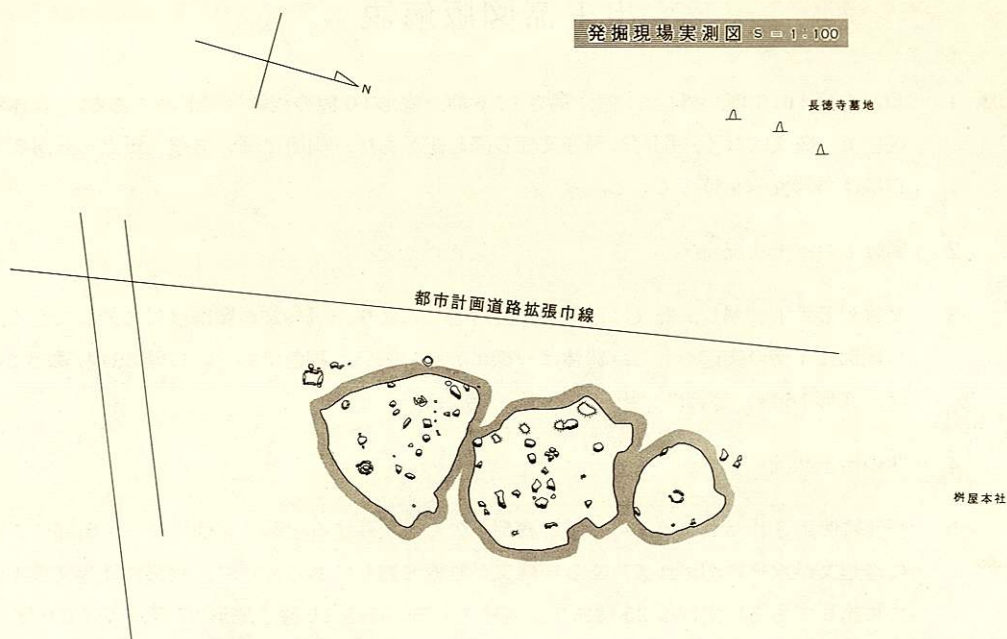


## 調査日誌

昭和45年3月 長沢遺跡発掘調査費30万円議会通過

- 6月18日 長沢遺跡発掘に関する研究会：市内小、中学校へ先生方の発掘への協力方  
依頼 川鍋第一中学校教諭、翠川第二小学校教諭、森田第四小学校教諭、  
工井良第三小学校教諭（市文化財調査会より、立川愛雄氏、森田潤三氏、  
高崎、田村氏が出席）  
木村東一郎氏（本州大学教授）から、長沢遺跡及び福生、西多摩地区の縄  
文遺跡について講義を受ける。  
発掘調査主任を、塩野半十郎氏（秋多町在住）に決定する。
- 6月25日 第2回長沢遺跡発掘研究会、塩野氏から、長沢遺跡とその発掘の方法につ  
いて講義：試掘を7月12日に決定。
- 7月12日 雨
- 7月18日 天候 晴、午後8時30分から5時まで、参加者15名福生地区消防署建  
設予定地500 $m^2$ に2 $m$ あきビット150穴、横8 $m$ ：80 $cm$ 、7.4 $m$ ：1.4 $m$   
のトレンチ2本を入れ試掘を行なう。消防署地区の西側道路側に縄文中期  
の住穴居址らしいものを数基、縄文中期加曾利Ⅰ～Ⅱ式多数出土：南側  
に土器多し、地層は60 $cm$ ～80 $cm$ で砂質土層につきあたり、関東ロー  
ム層を全々含まないことが判明。  
本発掘26日に決定
- 7月26日 晴 ブルドーザーはん入 発掘
- 7月27日 発掘作業開始 晴
- 7月28日 58, 59, 60, 70, 69, 50, 61 グリット
- 7月29日 晴 グリット59～96 勝坂式土器が出土 加曾利Ⅱ式土器多数出土  
勝坂式土器が加曾利式より上から出ている。  
78, 87, 96, 95, 77, 68, 58, 49, 57, 56, 105, 88,  
86
- 7月30日 参加者9人、中学生7人、13, 57, 67, 76, 85, 94～86, 77,  
104, 113, グリット  
西側の勝坂式土器の周辺からは勝坂期の住居は判明せず、西側面より中  
層の実測を開始する。

- 7月31日 晴 59～96をさらにおう、第3層を掘り炉址がはっきりする。
- 8月1日 グリット58～67 77～87 94～95  
昨日までの中層の土器をとりのぞき、床面を追う、58～68グリットから炉址が発見、炉址はかなり破壊されている。
- 8月2日 最初の住居址Aとする。住居址Aの全ぼうがはっきりとする。  
炉址は中央より東に1つ、西側にも小さい炉址、柱穴3つはっきりとする。  
北側94～95グリットで、新しい住居址がみつかるとする。住居址Bとする。  
炉址は出たが、柱穴は不明
- 8月3日 曇 参加者10名 地区内の南面を追う。大形の鉢、無文の浅鉢が出土する。グリット15～43
- 8月4日 曇、時々雨 15～43グリット 住居址C、Dを発見  
土器 多数、かぶと皿2つ、つぼ5コ、ためし焼に利用したと考えられる土器2コ
- 8月5日 15～43グリットを追う。A住居址のほり出しの南側で遺物の多数を出土  
南側に小さな炉址
- 8月6日 C住居址を拡げる 東側にうめがめをした炉址発掘 グリット20に新しい炉址。
- 8月8日 遺跡の全体写真
- 8月12日 遺跡遺構の実測
- 8月25日 晴 土器洗い、参加者 大人7人 中学生6人
- 8月26日 土器洗い完了
- 8月末～9月初旬 注記作業 4人
- 9月6日(日曜日)以後 毎日曜日 土器整理



### 発掘された炉址

長沢遺跡は、多摩川の氾濫で、関東ローム層が流失した。その後、砂質粘土の堆積したと推察されるところで、住居址のプランはもとより、柱穴の確認も困難であったが、炉址は6カ所から検出された。炉址は、発掘された順序に従って、A～Fまでの記号を付しておいた。炉址は3個又は4個の玉石を四角形に置いたもの、5個以上の河原石を円形に置いたものと大別される。いずれの場合にも中心に底のない土器を埋めたものもある。炉石は、普通、床面より少し高目で、土器も床面より少し高目で石の上面とほぼ同じ高さの場合が多く、焼土も多量にあることが多い。今回の発掘は、炉址の中に加曾利EのI式土器を埋めたものが2址あった。

- A. 50 糎, 60 糎, 55 糎, 20 糎, で炉址は破壊されている。
- B.
- C. 40 糎, 35 糎, 40 糎の□の字型に 石が置いてあり, 中に, 加曾利E - I式土器のうめがめがあった。
- D. 15 糎, 10 糎, 8 糎, 18 糎の河川石 5 個を長形にならべ, 一方がかける。
- E. 25 糎, 30 糎, 30 糎, 10 糎, 10 糎, 20 糎, 35 糎, 7つの炉石で, 円型に3の原石をおいたもので, 中に加曾利E式のIのうめがめが入っていた。
- F. 8つの大小の河原石をおいて作られている。60 糎, 45 糎, 40 糎, 48 糎である。